

オミクロン株（新型コロナウイルス）感染拡大に伴っての人工透析患者の医療体制確保についての要望書

要望事項	愛知県回答	所管課
1 ワクチンの接種率、効果の発現については、地域によって差がありますが、早急に3回目のワクチン接種をお願い致します。1月6日現在全国で人口透析患者の感染者は2,677人、死亡者数423人、愛知県124人 死亡者数17名となっております。	本県では、オミクロン株の感染拡大を受け、接種間隔を前倒して3回目のワクチン接種を進めております。慢性の腎臓病を含む基礎疾患のある方については、1月13日から接種間隔を6か月に前倒して接種できることとし、かかりつけの医療機関において、接種券の到着を待たずに接種を受けていただけます。また、接種券をお持ちの方であれば、県が1月24日から順次開設する大規模集団接種会場（6か所）においても、接種を受けることができます。 引き続き、迅速なワクチン接種に努めてまいります。	感染症対策課
2 感染拡大すれば、重症化人数が増えてまいります。透析患者が入院できる施設が前回要望した時は27病院（新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関79施設中）であるとお聞きしました。 引き続き人工透析患者が安心して療養できるよう各自治体、医師会、透析専門医が連携し、早急な対策にお取り組みくださるよう宜しくお願い致します。	現在、透析患者については、患者受入医療機関83施設のうち、28施設で対応可能となっており、今後も医療機関等と連携し、更なる病床確保に努めてまいります。	感染症対策課
3 透析患者の抗体カクテル療法である点滴静注射に関して、早期の確実な実施、入院困難な地域での外来での投与を推進されるようお願い申し上げます。 また各自治体が医療施設において透析患者に対する治療薬の確実な確保を図られるよう引き続き宜しくお願い致します。	抗体カクテル療法については、使用する中和抗体薬（販売名：ロナプリーブ）のオミクロン株に対する効果が、従来株に比べ低下することから推奨されていません。 一方、中和抗体薬（販売名：ゼビュディ）と経口治療薬（販売名：ラゲブリオ）については、オミクロン株にも有効とされており、外来を含め、円滑に投与できるように体制を整備しているところです。 今後も、医療機関等と連携し、必要な治療体制の確保に努めてまいります。	感染症対策課